



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

【ご入園、ご進級おめでとうございます！】 ～晴れの門出の日に日本の古い諺の意味を考えてみましょう～

日本の昔から古い諺の中から子育ての習わし(しきたりとして決まっている事柄)の中に「三つ子の魂 百までも(幼い時の性質は老年まで変わらない)」という言葉があります。また、「『つ』のつく歳までは神の子(9つ、ここのつ)」と言われていました。

最近の脳科学では、この日本の”子育ての習わし”を”記憶”という領域から捉え次のように言っています。

「『三つ子の魂 百までも』というのはその通りで、通常3歳くらいまでに脳の神経回路の中に組み込まれ、その後はほとんど変わることはない。ひとたび神経回路に組み込まれた記憶は、その人の根幹をなす記憶で一生涯ついて回る。特に恐れや喜びといった情動面でのその人の傾向は変更不可能です」というのです。つまりは3歳までにあった情動に関する喜び、怒り、おそれの記憶、また動作に関すること、二足歩行や走ること、衣類の着脱や自転車の乗り方などは一生、絶対に忘れない記憶になるというのです。

また私たち(社福)童心会の理念の根底にある「五感を刺激する 0歳からの人間教育」コミュニケーションに必要な言語の獲得も”一生もん”になります。

生まれて間もない新生児と母親との出会いは、”天使のほほえみ”という非言語コミュニケーション(non verbal communication)表情、仕草、身振りなどからやりとり(Serve & return サーブ&リターン)が生まれ、存在を認め合いながら「生まれてきてくれてありがとう！生まれてきて良かった！」という相方に感謝の一念が生まれるのです。

また「『つ』のつく歳までは神の子(9つ、ここのつ)」という意味は「子どもは授けられても”9つ”までは神様から委ねられた子どもであるから”愛おしく健気に育てよ”」という意味と解釈していました。

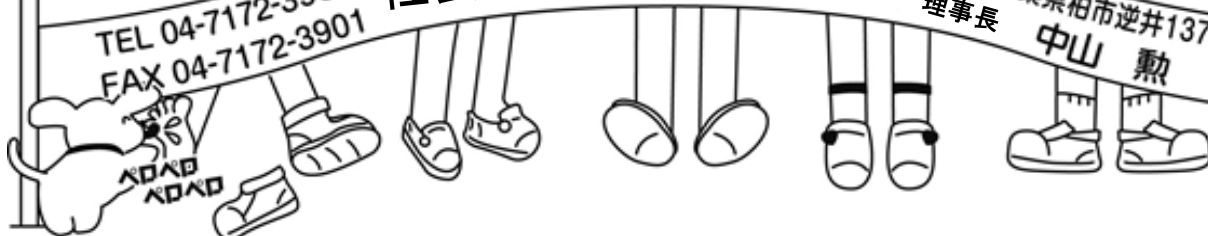


笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番



E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939 FAX 04-7172-3901 社会福祉法人 童心会 〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1 理事長 中山 勲



しかし最近の脳科学では、脳にどのような神経回路が形成されるか、という点は
遺伝的要素と幼少時(8歳から10歳まで)の環境によって決まり、
その形成は終了してしまうのだそうです。

こういった神経回路、脳の深部の3歳までの記憶は、
その人の根幹をなす記憶であり一生ついてまわることになります。
またその後も「自己意識」「行動の動機づけ」「自己抑制」「共感力」などといった機能をつかさどる前頭葉は、
人類の場合は著しく発達しており、その成熟には時間がかかるため、
それを担う機能は8歳から10歳前後まで成長を続けることになるのだそうです。

この4月にご進級なさる皆様には、すでにご存知かと思いますが、
私たち(社福)童心会の保育園は何をすところですか、と問われたら次のように答えます。

「人間学と人間科学に基づく人間教育を実践するところ」です。

私たちの日本には昔から

「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて 冷しかりけり」

と和歌にうたわれているように、美しい四季があります。

そして気候、風土、文化、歴史、宗教が私たちの先祖からのDNA(gene) 遺伝子をつなげ、
「1.嘘をつかない 2.約束を守る 3.人のものをとらない 4.人のために生きる 5.助けあって生きる」
が訓えとなったのです。

そして「現代版 無財の七施」の訓えは家の中に笑顔・挨拶が飛び交う
温かい家庭が”人を創る”ことを伝えてくれました。

現代版:無財の七施

- | | | | |
|-------|-------------------------|-----|-----------------------|
| ①笑顔 | 朝からとびっきりの笑顔でおもてなし | ⑤傾聴 | やさしい眼差しで熱心に聴くこと |
| ②挨拶 | 思いやりが心にひびくご挨拶 | ⑥共感 | 共に喜び共に悲しむ心(多様性) |
| ③思いやり | すべてのものの喜びや悲しみによりそう心 | ⑦受容 | 受け入れ取り込む心、分かちあいゆずりあう心 |
| ④感謝 | いつもありがとうの心をわすれない(助けあう心) | | |

また脳科学の視点では、2023年11月17日号のプレジデントという雑誌の特集を思い出しました。

「AI時代、人間は何を鍛えるべきか」頭がよくなる「脳科学」大全という特集でした。

その中で「なぜ頭のいい人は、脳を運動で鍛えているのか」と問いかけているのです。

この場合の運動とは、日常生活の中で行う体の動きそのものが、脳にとっては立派な運動なのです、
と書いてありました。私たち(社福)童心会は科学的エビデンスが実証する前から

「五感を刺激する 0歳からの人間教育」を実践し成果をあげてきました。

毎日のマラソン、園外保育活動、朝陽をあびて自由遊び、異年齢児交流、わくわくタイム、社会見学、
special day、いろいろな行事、お掃除やお当番、階段の登り下りなどすべての保育園での活動が
五感を刺激し、脳を運動で鍛え、非認知能力や認知能力が豊かな人間関係を築く基礎になっているのです。

改めて半世紀にわたる私たちの歩み「五感を刺激する 0歳からの人間教育」は

「自分を創る、人を創る」使命を果たしていくつもりです。

今年度もどうぞよろしく願いいたします。

みんなと いっしょに

一人ひとりの心が みんなの中に
みんなの心が 一人ひとりの中に
花が 咲(さ)いた
みんなが 咲(わ)らった

令和6年 4月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲